

## 本舗 出店計画 見直し

14年に1200店

「茶話本舗」のブランド名で小規模タイプのフランチャイズ展開を行う日本介護福祉グループ(東京都墨田区、小柳壮輔社長)はこのほど、第7期(13年3月

を發表した。利用者本位のサービスを提供する上で、サービスの品質の均質化・維持向上が最優先事項と判断し、その施策を実現するため、出店スピードを緩める。同社では、昨年5月からチェーン店に対し「自主基準」を策定し、運用しているほか、昨年10月には「自主点検制度」を導入し、内部監査体制を強化。サービス品質の向上とコンプライアンス体制の強化を徹底し

ている。

さらに今回、チェーン店の支援体制をより一層強化するため、①低稼働撲滅プログラム②通所介護管理士研修の開催③エリア勉強会の実施④リスクマネジメント体制の強化——の4つの支援策を新たに追加する。こうした対策を講じることで、チェーン店との信頼関係を強化し、利用者に質の高いサービスを提供していく考え。